

Report on 勉強会テーマ N (午前) 「キャッツアイ・スター」

／JGS ニュースレター2017年19号 (8月発行)

会員 B

日本では四半世紀前は人気のある宝石のひとつとして、多くの商品が出回っていたのがクリソベリルに代表されるキャッツアイとサファイア・ルビーに代表されるスターの出る石である。当時は 20ct 以上の大きなサイズのもの、目やスターは別として石そのものが美しいものを目にする機会が少なからずあった。近年では日本国内において主役の座からはずれたところに置かれ、印象的なものを目にする機会がなくなってきたように思っているのがこれらの石である。



今回の勉強会では、まず、サンプルとして用意されたキャッツアイおよびスター効果をもつ宝石の種類と数の多さに驚かされた。どちらかというところではメジャーではない種類をこれだけ一同に観較べること

ができた機会はこれまで記憶にない。また講師のアラウディーン氏はスリランカ人で、キャッツアイやスターサファイアのキャピタルと言われる国出身で、これらの石に囲まれた環境に育っただけに、講義の内容は新鮮であり、そして興味深いものであった。

シャトヤンシー効果 (キャッツアイ) やアストリズム効果 (スター) の元となるシルク状のインクルージョンの位置や量はその個々の石持つ特殊効果や外観に影響しているということや、スターサファイアのスターには男のスター (天地のある六条スター) と女のスター (水平線のある六条スター) がありスリランカ



では使い分けられていることなど、新たな観点を学ぶことができた楽しい勉強会であった。